

生徒どうしによる英作文の添削

<p>■ 単元名： 比較の基本</p> <p>【単元の目標(めざす生徒の姿)】</p>		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
比較(特に発展的な副詞と副詞、印象と実際、今と過去の比較)を表す方法に関する知識が定着している。	比較(特に発展的な副詞と副詞、印象と実際、今と過去の比較)を表すための思考力・判断力・表現力を身に付けている。	協働して課題解決する姿勢、思考して自分に問う力、他人と自分の考えを比較して検討しようとしている。
<p>■ 使用する機器、アプリ等</p> <p>Chromebook、Jamboard、Google フォーム</p>		
<p>■ 学習のねらい</p> <p>比較を表す方法に関する知識の定着と思考力・判断力・表現力の育成に加えて、他人と自分の考えを比較し検討しようとする態度を育成する。</p> <p>■ 学習の流れ</p> <p>【本時までの学習】(1時間) 「比較表現」の導入、説明と基礎問題への解答。</p> <p>【本時の流れ】(50分)</p> <div style="border: 2px solid #00aaff; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">本時のポイント「他の生徒の英作文の添削による知識の定着と思考力の育成」</p> <p>事前に提出させた英作文を Jamboard で提示し、まずは2人1組で互いに添削(間違っていると思う箇所に線を引き、付箋に訂正を記入)させる。その添削については他のグループも確認できるようにしておくことで、生徒たちに様々な表現が可能であることに気づかせる。</p> </div>		
時間	学習内容・活動	
5分 導入	(内容)本時の目標や活動内容についてスライドで説明する。 (活動)4人組のグループをつくる。	
17分 展開①	(内容)生徒が事前に提出した英作文を添削する(Exercises A)。 (活動)2人1組で Jamboard で提示されたペアの英作文を添削する(間違っていると思う箇所に線を引き、付箋に訂正を記入)。添削が終われば、グループの他のペアの添削内容に関して、自分の考えと比較しながら検討し、疑問点・改善点があればシェアする。また、分担して、他のグループの Jamboard を開き、気になるコメントがあれば共有する。終われば、教員が作成した解説を確認する(URL を Classroom に追加)。	
15分 展開②	(内容)生徒が事前に提出した英作文を添削する(Exercises B)。 (活動)展開①の内容を繰り返す。Exercises B は Exercises A より難しいため、活動時間を長く設定する。	
5分 まとめ	Google フォームで本時の授業の振り返りを行う。	

■ ココで ICT を活用！

事前課題として英作文を Google フォームで提出する

本授業の前に英作文(Exercises A, B)を課題として与え、提出させておく。提出については、生徒が提出しやすいよう Google フォームを活用した。

Jamboard で英作文を提示し、間違っている箇所に線を引き、付箋に訂正を記入する

提出された英作文をあらかじめ Jamboard に貼り付けておき、ペアとなった生徒の英作文について、間違っていると思う箇所に線を引き、付箋に訂正を記入させる。

ペアおよびグループで、またグループを超えて添削内容を確認する

ペアの添削終了後、互いに内容を確認し、疑問点や改善点があれば共有させるとともに、グループの他のペアが添削した内容も共有させる。さらに、他のグループの Jamboard を開き、気になるコメントがあれば、各グループにおいて共有させる。

生徒の解答など Exercises A2 2カ所

(5)天気予報によると、明日は今日より3°Cぐらい暖かくなりそうだ。

①According to the weather forecast, it seems to be about 3°C warmer tomorrow than today.

will

②The weather forecast said that...

says

教員が作成した解説への URL を Classroom に追加する

添削された内容の確認を終えた後、あらかじめ教員が作成しておいた英作文に関する解説を確認させるための URL を Classroom に追加し、生徒それぞれに確認させる。

生徒の解答など Exercises A2

(5)天気予報によると、明日は今日より3°Cぐらい暖かくなりそうだ。

①According to the weather forecast, it seems to be about 3°C warmer tomorrow than today.

②The weather forecast said that...

will / is going to / is likely to
「明日」の天気の話ではなく、「今日」の話なら **seem** は可

・3°C
・three degrees Celsius
・three degrees centigrade

○ **says**
△ **saying** → 「今この瞬間の予報は」
△ **said** → 今は予報が変わっている感じ

Google フォームで授業の振り返りを入力する

解説を確認し終えたら、本時の授業についての振り返りを Google フォームに入力し提出させる。

■ ICT 活用のメリット

事前課題の英作文および授業の振り返りを Google フォームを活用し提出

授業の振り返りなどにおいて Google フォームを活用するのは一般的であるが、今回は事前課題の英作文についても Google フォームを活用して提出させた。提出する側の生徒にとっても容易に提出できるとともに、収集する側の教員にとっても、提出状況の確認や収集後のデータ管理・処理が容易となるメリットがある。

生徒一人ひとりが実際に添削するとともに、その添削内容を生徒全員が共有

これまでの授業では、指名した生徒に意見を問い、それを全体で共有するという形であり、自らの考えを表明することができるのは一部の生徒に限られたが、本授業では生徒一人ひとりがペアの英作文を添削するとともに、ペアやグループ、また他のグループの添削内容まで確認することができる。

■ 本実践での工夫

本時の目標「和文英訳力を高める」ために必要なことを理解させる

和文英訳力を高めるには、まずは日本語の読解力を高め、与えられた日本語を自分が英語で表現できる日本語に置き換えることが必要である。そのため、1つの英作文の問題に対する解答にも様々な表現があることを理解させることが大切となる。また、正しい表現のストックを増やすとともに、間違っただけの表現を知ることが重要であり、自分(他人)が作成した文を客観的に添削できる能力が求められる。前時の授業において以上の内容(今回の活動の目的)を生徒に伝え、今回の生徒どうしで互いに英作文を添削する活動を行った。

ペアおよびグループでの活動を重視した

今回の活動においては、他人と自分の考えを比較し検討しようとする態度を育成することも目標の一つとした。そのため、単に添削する活動を取り入れるだけではなく、今回は4人組のグループをつくり、まずは2人1組のペアで添削を行ったうえで、他のペアの添削についても共有させるなど、実際に対話させることを重視した。さらに、他のグループの添削の内容についても確認させることで、多くの表現があることを気づかせるように工夫した。

あらかじめ作成した解説を生徒に確認させた

添削の確認を終えた後、あらかじめ教員が作成した英作文に関する解説を生徒それぞれに確認させるようにした。これまでは事前に課題として与えていた英作文を授業中に黒板に書きに来させて、生徒たちの意見も聞きながら教員が添削する形が一般的であった。教員にとっても、生徒がどのような文章を書くのかわからない状況で授業に臨まなければならないだけでなく、添削・解説するにあたって十分考える時間がないのが現状であった。一方、今回の方法のように事前に英作文を提出しておくことにより、教員が解説を作成するにあたっては、事前に提出された英作文によって、多くの生徒が使用した間違っただけの表現などを確認しながら、指摘できるというメリットがある。

■ 実践の振り返り-活用を深めるために-

今回は上記のとおり、和文英訳力を高めるために必要となる、語法・文法上「間違っていないか」という視点を生徒自身もつことを目的として、添削させる活動を取り入れたところである。特に、1つの英作文の問題に対する解答には様々な表現があることを知ってもらいたいと考え、ペアやグループで互いの考えを共有させたところである。

今回、共有する方法として、事前に解答を提出させたうえで、その解答を Jamboard に貼り付け提示したが、授業中に一定の時間を与え解答を考えさせたうえで、一斉に共同編集のファイルにその考えた英作文を入力させるなどの方法でも、様々な表現があることを理解させるという目的は達成できると考える。

今後も1人1台端末と共同編集機能を活用した協働的な学びの実現をめざし、授業における効果的な活用方法を検討しながら、新たな取組にチャレンジしていきたいと考えている。